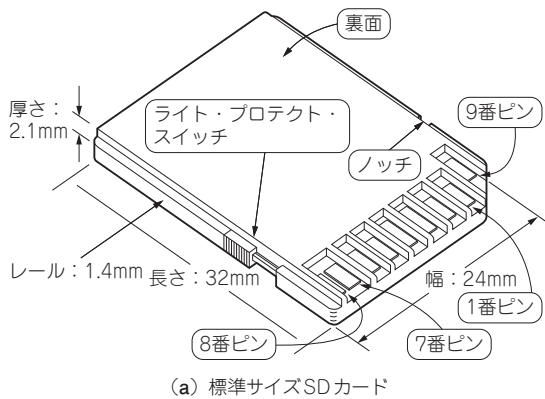


定番フラッシュ・メモリあんちょこ

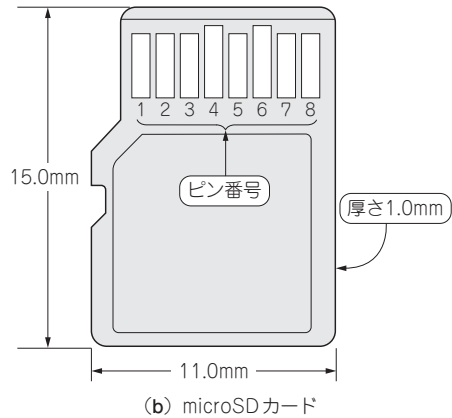
保存版

SDカード便利帳

岡田 浩人, 坂本 広幸



(a) 標準サイズSDカード



(b) microSDカード

図1 SDカードの形状

現在最も普及しているフラッシュ・メモリ・カードといえば、SDカードとなるでしょう。ここでは各種あるSDカードの種類を整理して、その規格について解説します。

SDカードの種類

● 形状

現在、SDカードには図1に示すように、標準サイズのもの(本編では標準サイズSDカードと呼ぶ)と、microSDカードと呼ばれるより小型形状のカードの2種類があります。以前はこの中間のminiSDカードも存在したのですが、現在では使われなくなりました。

表1 SDカードの種類

名称	ロゴ	最大容量	アドレッシング	ファイル・システム
SDSC		2Gバイト	バイト・アドレス	FAT12/16
SDHC		32Gバイト	ブロック・アドレス	FAT32
SDXC		2Tバイト	ブロック・アドレス	exFAT

● メモリ容量

SDカードは、そのメモリ容量によりSDSC、SDHC、SDXCと異なる名称があります。異なる名称を付けたのは、それぞれに使われているファイル・システムが異なるためです。ホスト機器は、使用するカードの種類によってサポートするファイル・システムを変える必要があります。異なるファイル・システム間の互換性はないので、例えば、SDSCしかサポートしていないホスト機器は、SDHC、SDXCは使えません。ユーザにカードの種類が識別できるようにロゴマークがカードに付けられています(表1)。

なお、SD/SDHC/SDXCのロゴマークは、SD-3C, LLC(パナソニック、サンディスク、東芝が設立したSDカードのライセンス会社)の商標になっています。

● バージョン

SDカード規格は、基本仕様となるバージョン1.01およびSD/SDHC/SDXCなどのロゴマークまでは、SD-3C, LLCで規格化されました。それ以降のバージョンは、SDアソシエーション(SD Card Association: SDA)で規格化されています。先のカードの種類、名称、ロゴマーク、そしてその運用ルールもSDAで決められたものです。2001年4月のバージョン1.01のリ